

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



中学生・高校生が作成したおすすめのPOP展 ★2025★ 開催中です！

7～8月の職場体験・インターンシップで、中学生・高校生が作成したPOP(32点)と紹介した本を展示しています。イラストやキャッチコピーに工夫を凝らした、個性豊かなPOPを参考に、気になる一冊を手にとってみてはいかがでしょうか。



- 展示場所：1階ティーンズコーナー
- 展示期間：令和8年2月27日(金)まで

POPとブックリストは、当館ホームページで公開しています。
(山梨県立図書館>ティーンズページ>職場体験・インターンシップ)



「職場体験・インターンシップ」
のページ

読み聞かせや、紙芝居、ブックトークを依頼できる団体がすぐわかる！ 「子ども読書ボランティアバンク」をご活用ください

読み聞かせや紙芝居等の実演依頼を引き受けることができる、NPO・ボランティア団体のリスト「実演団体リスト」(ボランティアバンク)最新版を当館ホームページで公開しました。

- 活用事例
- *幼稚園・保育所・認定こども園で年齢別に読み聞かせをしてほしい
 - *子育て支援センターのイベントで、人形劇をしてほしい
 - *地域に伝わる民話・昔話の紙芝居を演じてほしい
 - *中学校で朗読や、ブックトーク、ストーリーテリングをしてほしい
 - *小学校のイベントで、読み聞かせやパネルシアターをしてほしい。



ご希望の方は、実演内容や対象を確認し、直接、各団体に連絡してください。講師費用・旅費等は、依頼者の負担となります。依頼先の団体とご相談ください。(県立図書館では、仲介は行っていません)

- ※「子どもの読書関係NPO・ボランティア団体調査」の調査結果(令和7年6月現在)を基に作成したリストです。
- ※ボランティア活動に興味がある方は、子ども読書ボランティアバンクのページ内「新規メンバー募集团体リスト」をご覧ください。



「子ども読書ボランティア
バンク」のページ

絵本について学びました！

令和7年度子どもの読書ステップアップ講座（第1回・第2回）

当センターでは、年間全4回の「子どもの読書ステップアップ講座」を開催しています。県内の読書活動推進の核となる人材を育成することを目的に、専門理論と実践力を学ぶ講座です。

9月10日（水曜日）は、開講式に引き続き第1回の講座が行われました。「読み聞かせて発達支援 絵本でひらく心とことば～支援の必要な子どもたちに本を届ける～」をテーマに、本と子どもの発達を考える会顧問の越高令子氏、同事務局長の豊嶋さおり氏にご講義いただきました。



▲ 開講式



▲ 越高令子氏



▲ 豊嶋さおり氏

まず、会の活動について説明があり、病院等の読み聞かせて使う絵本を実演を交えてご紹介いただきました。また、受講者同士による絵本の読み合いを行い、子どもに寄り添う読み聞かせのプログラム作りや、活動で大切にしていることをお話いただきました。一人一人の子どもに絵本を届けるとはどういうことか、考える機会となりました。受講者からは「子どもにとっての絵本の意義を再確認した」「自分の知らないところで様々な団体が活動していることを知った」等の声が寄せられました。

第2回は10月8日（水曜日）、「言葉の力絵の力 ― 本作りの過程で教わったこと」をテーマに福音館書店販売部部員の寺久保未園氏にご講義いただきました。

月刊絵本「こどものとも」や、担当された作家や画家の方々とのやりとりを例に、一つの作品が着想から形になるまで、誰がどのように関わっているかをお話いただきました。また、編集や子どもと向き合う際に指針となった言葉などもご紹介いただきました。後半では、昔話の語り部である藤巻愛子氏に山梨ゆかりの昔話を語っていただき、言葉と絵の力を実感する講座となりました。

受講者からは「一冊の絵本が、長い時間をかけ、たくさんの人の手によって作られているとわかった」等の感想がありました。藤巻愛子氏にはサプライズでご登場いただきましたが、「昔話の語りが心に響いた」との声が寄せられました。



▲ 寺久保未園氏



▲ 藤巻愛子氏

第3回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で、年5回開催している、子どもの読書について学ぶ初心者向けの講座です。



▲ 竹内美紀氏

第3回は9月24日（水）、「デジタル時代こそ科学絵本を」と題して、東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科准教授、竹内美紀氏にご講義いただきました。『かわ』（加古里子／作・画 福音館書店）や『しっぽのはたらき』（川田健／ぶん 薮内正幸／え 福音館書店）、『クジラがしんだら』（江口絵理／文 かわさきしゅんいち／絵 童心社）など、さまざまな科学絵本をご紹介いただきました。参加者は実際に本を手に取りながら、科学絵本が子どもの観察眼を養い、好奇心を満たすことなどについて学びを深めました。